

2019年11月6日  
日興アセットマネジメント株式会社



エンジェルジャパン・アセットマネジメント\*  
運用チーム

## 日興グローイング・ベンチャーファンド

### エンジェルジャパン宇佐美博高から 皆様へのメッセージ

右から 宇佐美代表取締役、内藤チーフインベストメントマネジャー、  
金沢シニアインベストメントマネジャー、柳葉シニアインベストメントマネジャー、永嶋インベストメントマネジャー

\*当ファンドの投資助言を行なう投資顧問会社です。

### 「エンジェルジャパン・アセットマネジメント」の投資哲学

- **経営者に対する『個別直接面談調査』を徹底することで、革新成長企業を厳選します。**
- **新興成長企業は判断が難しいため、アナリスト経験豊かなチーム全員と一緒に面談し、投資判断も完全な合議制にて運営しています。**
- **IPO(株式の新規公開)のロードショー\*\*でほとんど全ての企業と面談し、革新的な企業とはその後も定期的に面談します。**
- **組入企業を順次入れ替え、常に「今が旬」の「成長割安50社パッケージ」を維持することをめざします。**

\*\*IPO前に行なわれる機関投資家向けの会社説明会

※上記「50社パッケージ」とは、50社程度という意味で使用しており、投資銘柄数を50社に限定するものではありません。

## ～次世代コンピュータが経済の活性化に貢献することに期待～

パーソナルコンピュータ（パソコン）の基本ソフトウェアである『Windows 7』のサポートが来年1月に終了します。発売から10年が経過し、技術的に古くなってきたため、最新の基本ソフトへの乗り換えを促すものです。サポートが終了した『Windows 7』搭載のパソコンは、悪意のあるソフトウェアの侵入を許し、パソコン内の重要な情報が抜き取られる危険性が高まります。このような背景もあって、今年パソコンの買い替え需要が高まり、電子情報技術産業協会の統計によると、2019年4～9月の国内パソコン出荷台数は前年同期比で51%増加しました。

パソコンが大きく普及するきっかけとなったのは、基本ソフト『Windows 95』が1995年に発売されたことです。それから24年が経過しましたが、その間にコンピュータはハードウェア・ソフトウェアともに飛躍的に性能を向上させました。

■当資料は、投資者の皆様へ「日興グローイング・ベンチャーファンド」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

当時の事務職の職場では、現在では当たり前である1人1台のパソコンが導入されておらず、紙とペン、電卓が幅を利かせていました。当時を振り返ると隔世の感がありますが、ビジネスパーソンの働き方は今後さらに変化しそうです。そのキーワードとなるのがテレワーク（遠隔地での勤務）です。テレワークであれば、週に3日は会社、2日は自宅といった柔軟な働き方が可能になりますし、普段は都市部で勤務する社員が、気分転換を兼ねて1ヵ月はリゾート地で勤務するといったことも可能になります。また、BCP（事業継続計画）対応という点でも、テレワークの意義は大きいです。例えば今年には首都圏において、台風による鉄道の計画運休が実施されましたが、その際にもテレワークの環境が整っている企業であれば、無理せずに出社しないという選択肢が採れたことでしょう。通信インフラなどの充実に加え、過去20年余のコンピュータの飛躍的な性能向上があってこそ、こういった働き方も可能になったわけです。

コンピュータの性能向上は仕事ばかりでなく、日常生活も大きく変えました。私たちの手のひらの上で動くスマートフォンは、1995年当時のパソコンを遥かに凌ぐ性能を持っています。手のひらの上で動くコンピュータで、買い物をしたり、地図を見たり、音楽を聴いたりすることを当時予想できた人は多くないでしょう。これを実現するのに日本の技術が大いに貢献したことが、今年に改めて内外に認知されました。リチウムイオン電池の開発に主導的な役割を果たしたことが評価され、大手化学品メーカーの研究者である吉野彰氏がノーベル化学賞を受賞したからです。スマートフォンは液晶モニターに直接触れて、様々な操作をするという画期的なアイデアがもとになって開発されました。その原型を開発したのは米国企業ですが、製品化に必要な電子部品やカメラ装置などの開発・製造で日本企業が重要な役割を果たしており、リチウムイオン電池もその一つといえます。

今年10月には、米国のIT企業が量子コンピュータを使い、複雑な計算問題を最先端のスーパーコンピュータ（スパコン）より極めて短い時間で解く実験に成功したと発表しました。これまでも理論上、量子コンピュータはスパコンを上回る性能を持つと考えられてきましたが、実験で証明されたのは初めてです。実験の妥当性の検証や、量子コンピュータの実用化にはなお時間を要すると考えられますが、コンピュータのさらなる性能向上の萌芽が見えたことの意義は大きいでしょう。パソコンやスマートフォンの登場が、新興企業の誕生と成長を促し、日本経済を活性化させたことは間違いありません。次世代コンピュータの登場も、日本経済活性化の一助になることが期待されます。

## エンジェルジャパン・アセットマネジメント 宇佐美 博高

1976年一橋大学卒。静岡銀行、すみや電器を経て野村総合研究所入社。ディービー・モルガン・グレンフェル・アセットマネジメント（現ドイチェ・アセット・マネジメント）等株式運用責任者を歴任後、2002年エンジェルジャパン・アセットマネジメントを設立



## ファンドの特色

1

**高成長新興企業の株式に投資を行ない、信託財産の成長をめざします。**

○主として、公開後5年以内のわが国の金融商品取引所上場株式の中から、革新的な高成長新興企業(=グローイング・ベンチャー)に投資を行ないます。

2

**エンジェルジャパン・アセットマネジメントによる徹底したボトムアップ・リサーチにより有望企業を厳選します。**

3

**エンジェルジャパン・アセットマネジメントから投資助言を受けます。**

## お申込みに際しての留意事項

### ■ リスク情報

投資者の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者(受益者)の皆様に帰属します。なお、当ファンドは預貯金とは異なります。

当ファンドは、主に株式を実質的な投資対象としますので、株式の価格の下落や、株式の発行体の財務状況や業績の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。

主なリスクは以下の通りです。

### 【価格変動リスク】【流動性リスク】【信用リスク】【未上場株式などの組入リスク】

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

### ■ その他の留意事項

- 当資料は、投資者の皆様へ「日興グローイング・ベンチャーファンド」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- 分配金は、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した運用収益を超えて支払われる場合があります。投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。
- 投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様に帰属します。当ファンドをお申込みの際には、投資信託説明書(交付目論見書)などを販売会社よりお渡ししますので、内容を必ずご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。

■当資料は、投資者の皆様へ「日興グローイング・ベンチャーファンド」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

## お 申 込 み メ モ

商品分類	追加型投信／国内／株式
購入単位	販売会社が定める単位 ※販売会社の照会先にお問い合わせください。
購入価額	購入申込受付日の基準価額
信託期間	2023年7月18日まで(2003年7月18日設定)
決算日	毎年7月17日(休業日の場合は翌営業日)
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して5営業日目からお支払いします。

## 手 数 料 等 の 概 要

投資者の皆様には、以下の費用をご負担いただきます。

<申込時、換金時にご負担いただく費用>

購入時手数料	購入時の基準価額に対し <u>3.3%(税抜3%)以内</u> ※購入時手数料は販売会社が定めます。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。 ※収益分配金の再投資により取得する口数については、購入時手数料はかかりません。
換金手数料	ありません。
信託財産 留保額	換金時の基準価額に対し <u>0.5%</u>

<信託財産で間接的にご負担いただく(ファンドから支払われる)費用>

運用管理費用 (信託報酬)	ファンドの日々の純資産総額に対し年率 <u>2.09%(税抜1.9%)</u>
その他の費用・ 手数料	監査費用、組入有価証券の売買委託手数料、借入金の利息および立替金の利息などがその都度、信託財産から支払われます。 ※運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを表示することはできません。

※投資者の皆様にご負担いただくファンドの費用などの合計額については、保有期間や運用の状況などに  
応じて異なりますので、表示することができません。

※ 詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。



## 委託会社、その他関係法人

委託会社	日興アセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第368号 加入協会:一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会
投資顧問会社	エンジェルジャパン・アセットマネジメント株式会社
受託会社	野村信託銀行株式会社
販売会社	販売会社については下記にお問い合わせください。 日興アセットマネジメント株式会社 [ホームページ]www.nikkoam.com/ [コールセンター]0120-25-1404(午前9時~午後5時。土、日、祝・休日は除く。)

### 投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

金融商品取引業者等の名称	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
エース証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第6号	○		
SMBC日興証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2251号	○	○	○
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○		○
岡三オンライン証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第52号	○	○	○
東海東京証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第140号	○		○
内藤証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第24号	○		○
日産証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第131号	○		○
碧海信用金庫	登録金融機関	東海財務局長(登金)第66号	○		
松井証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第164号	○		○
水戸証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第181号	○	○	
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○

(50音順、当資料作成日現在)